

寶飯郡 遠測 辨天島 大島 龜岩

幡豆郡 遠測 琵琶島 梶島 佐久島 辨天島

〔易林本節用集〕下參河州參上管八郡東西一日半山河多而淺一尺故五穀不熟國乏下々小國也

〔三河國二葉松序〕參河國之大體西首東尾南海北嶺中貫三河西極尾州抵遠州南限滄海津湊北境

信州之山丘郡縣邑里無不豐饒疆理之制則以五城直隸州府中國分爲八郡曰碧海曰幡豆曰額田

曰加茂曰設樂曰寶飯曰八名曰渥美總之爲村千二百七十四箇邑爲地高三十五万八百八十石餘

賜分諸侯大夫旗下之臣數十人誠神祖龍飛之地如周之岐幽漢豐沛矣真足以當形勢之勝而爲萬

世不拔之鷗基國家根本之會成未有過之者也略○下

〔梧窓漫筆拾遺〕三河の國より天下を領する人の起りしこと如何なる故と云ふことを知らず山

川の英靈にや鳳來山本宮山猿投山等さまでの高山にも非ず吉田川矢矧川も岐祖川利根川な

どに比類すべきにも非ず往古民情風俗の至りて善き處と云ふこと新太郎少將の諸士へ勸戒

し給へる書にて知りたりさて予○太田錦城が所見は山は童山のみ多くて草木を生せず灌漑の木

少なくいかに瘠薄の地にて下々の國と云へり是れ人の興るべき基源なり魯語の公父文伯

の母の言に沃土之民不才者淫也瘠土之民莫不嚮義思也と瘠薄の土ゆゑに人浮華に走らず篤

實儉朴にて能く勤む是興るべきの源本なりされども只今にては昔の様子とは事替りたるべ

し新太郎少將の見給ふとも最早ほめ給ふことはあるまじと思ふなり

矢矧の橋を渡りて西は土地肥磽の異あるは知らず先尾張と同國様にて四方を遠望すれば

東照神君の興り給へる國と云ふことも自然に知るべき形象あり是れは別論に附す

〔日本實測錄街道〕從東京東海道至西京○中

三河國渥美郡二川宿 二里一十三町八間半 豐橋本吉船町三十四度四十六分半 二里一十